

こいた 小板まきばの里通信 Vol 14.2

～いろいろなトンボを探してみよう～

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高750mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

■キャンプ場周辺で夏の植物を探索しよう！



■里山の自然観察 ～いろいろなトンボを探してみよう～

梅雨が終わると季節は本格的な夏に突入し、キャンプ場内ではいろいろなトンボの姿を見かけるようになります。水路の上や開けた場所を高速で飛び回るのは、日本最大のトンボのオニヤンマです。黒い胴体に黄色い縞模様、明るい緑色の大きな目が特徴です。エントランスの小さな水路の近くを飛んでいる少々太目の水色の体のトンボはオシオカラトンボのオス。同じようなシルエットで黄色っぽい胴体をしているのがメスです。日当たりのよい開けた場所にたくさんとんでいる赤とんぼと同じような大きさのトンボはミヤマアカネ。羽に太目の茶色い帯があるのが特徴です。木陰の水路や小川近くでは、糸のように細い体で黒い羽のハグロトンボや茶色い羽のミヤマカワトンボに出会うことができます。夏の空を気持ちよさそうにとびまわるいろいろなトンボを探してみましょ。